

地区別カルテ (紅葉丘文化センター圏域)

地区現況

- 地区人口は23,523人(全市に占める割合9.0%)であり、西武多摩川線沿線に特に集中している。
- 地区北西部と南東部は、非居住地(多磨霊園、東京外国語大学、運動場)となっている。
- 老年人口は4,823人、高齢化率は20.5%であり、府中市全体と比べてやや低い高齢化率である。
- 地区内には、路線バスが6路線、ちゅうバスが2路線運行しており、「**府中駅**」、「**東府中駅**」、「**武蔵小金井駅**」、「**武蔵野台駅**」、「**多磨霊園駅**」、「**三磨駅**」にアクセスすることができる。

【地区概要】

<紅葉丘エリア>

人口・世帯等		
面積	4.14km ²	
地域	多磨町、朝日町、紅葉丘、若松崎3~5丁目	
世帯(全市に占める割合)	11,402世帯 9.0%	
人口(全市に占める割合)	23,523人 9.0%	
3区分人口	0~14歳	3,108人 13.2%
	15~64歳	15,592人 66.3%
	65歳以上	4,823人 20.5%
	75歳以上(再掲)	2,493人 10.6%

<府中市全体>

人口・世帯等		
面積	29.43km ²	
世帯	126,160世帯	
人口	260,232人	
3区分人口	0~14歳	34,082人 13.1%
	15~64歳	169,156人 65.0%
	65歳以上	56,994人 21.9%
	75歳以上(再掲)	29,604人 11.4%

【人口・世帯等の基準日】
令和2年1月1日現在。
【出典】
住民基本台帳より。

表 地区内の公共交通

路線	起終点	便数
府75(京王バス)	東府中駅 - 武蔵小金井駅南口	54便
武85、武95(京王バス)	多磨霊園駅 - 武蔵小金井駅南口	43便
鷹52(小田急)	三磨駅 - 車返団地など	12便
飛01、飛02(京王バス)	多磨駅 - 飛田給駅北口	6便
調33(京王バス)	多磨駅 - 調布駅北口	29便
磨01(京王バス)	多磨霊園駅 - 多磨町	43便
朝日町ルート(ちゅうバス)	多磨駅 - 武蔵野台駅 - 府中駅	22便
多磨町ルート(ちゅうバス)	多磨町 - 府中駅	21便

公共交通の利用状況

- 地区内で利用が多いちゅうバスのバス停は、「**多磨駅**」や「**若松防災センター**」~「**多磨霊園表門**」となっている。一方、「**警察大学校**」、「**浅間山公園入口**」、「**人見街道入口**」においては、**比較の利用が少ない**。
- 市全体と比較すると、**ちゅうバス・路線バスともに利用している割合が高い**地域となっている。
- 公共交通の満足度をみると、約2割が不満と回答しており、市全体と比べてやや割合が多い。
- 公共交通の不満点としては、「**バスの本数が少ない**(47.5%)」、「**駅・バス停までの移動が大変**(22.0%)」、「**自転車駐車が足りない**(22.0%)」、「**自転車の走行環境が悪い**(22.0%)」であった。

【利用状況】

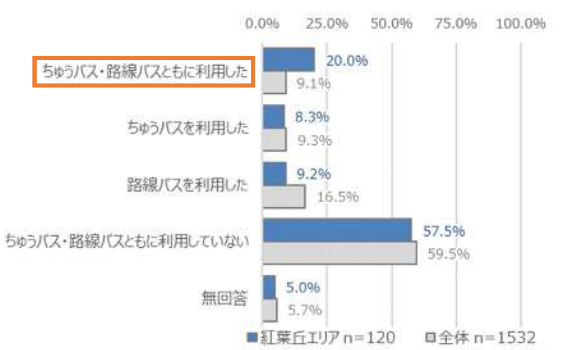
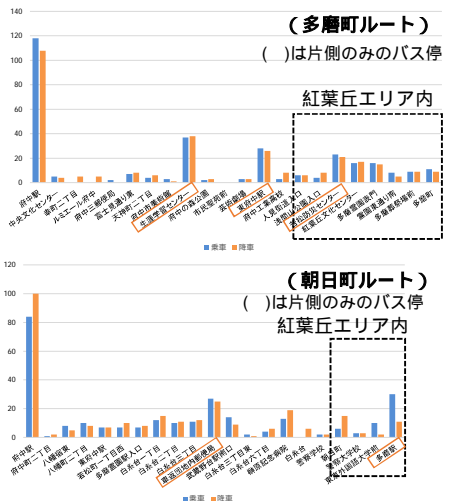


図 公共交通の利用状況 (R2市民アンケートより)

図 バス停別の乗降車数 (R3ちゅうバス利用者アンケートより)

【公共交通に対する満足度】 (R2市民アンケートより)

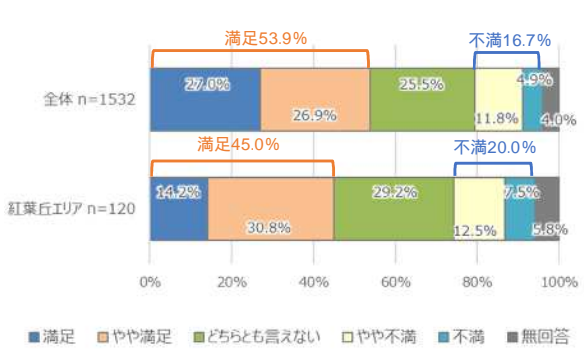


図 公共交通に対する満足度

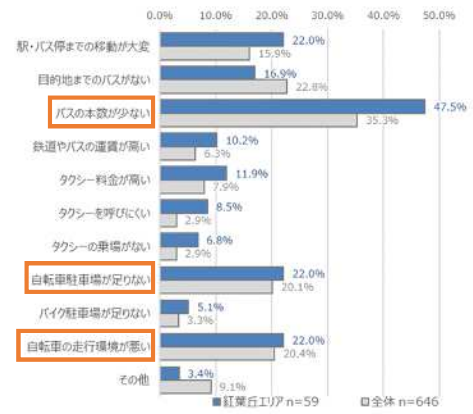


図 公共交通の不満点



図 地区現況図(人口、施設立地、運行ルート)

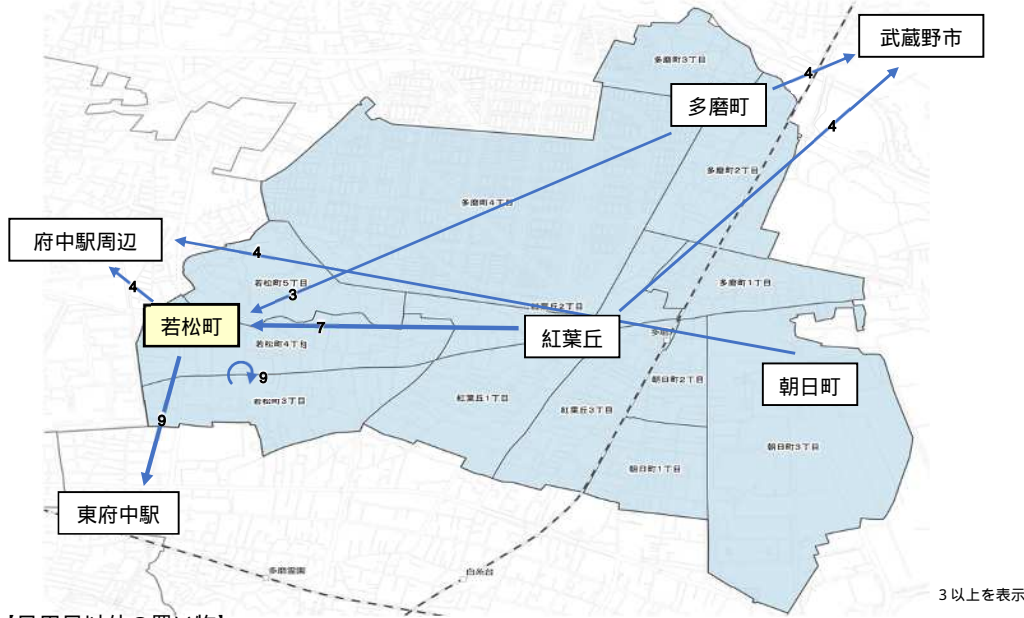
- 住民の声** (令和2年度市民アンケートより)
- ちゅうバスの本数が少ない(朝日町2丁目 20代 男性) (朝日町2丁目 80代 女性)
 - ちゅうバスで府中駅まで出るときに回り道が多いため、時間がかかる(紅葉丘3丁目 40代 女性)
- 民生委員アンケート**
- 近くに大きなスーパーがなく、高齢者は、肉や魚などの生鮮食品の入手が困難。
 - 働いているお母さんも多いので、自家用車でまとめて1週間分の買い物をする人が多い。

地区別カルテ (紅葉丘文化センター圏域)

移動特性 (R2市民アンケートより)

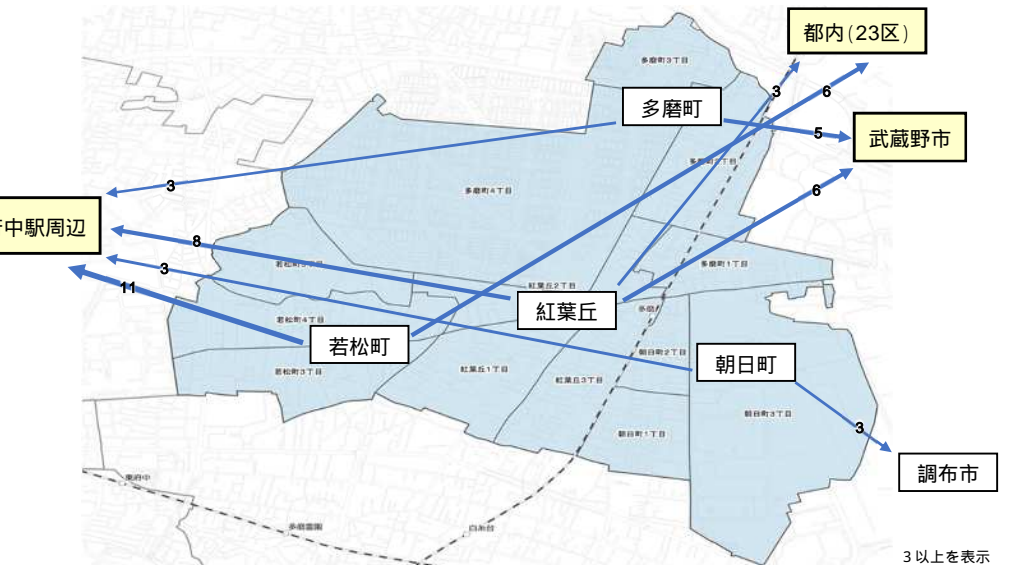
【日用品の買い物】

- 日用品の買い物先としては、「**若松町内**」が多い。
- 若松町からは「**東府中駅周辺**」への移動も見られる。
- 多磨町から「**武蔵野市**」への移動も見られる。



【日用品以外の買い物】

- 日用品以外の買い物先としては、「**府中駅周辺**」が多い。
- 西武多摩川線沿線から「**武蔵野市**」への移動もみられる。
- 若松町から「**都内 (23区)**」への移動も見られる。



【通院】

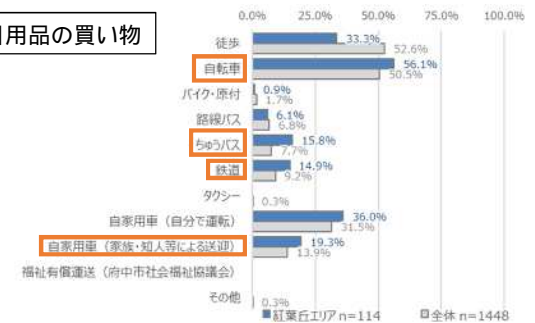
- 通院先としては、「**若松町から「府中駅周辺」「東府中駅周辺」、紅葉丘から「武蔵野市」が多い。**」



【交通手段】

- 用事別の交通手段は図のとおりである。
- 公共交通の利用状況を市全体と比べるといずれの用事においても、**自転車・鉄道・ちゅうバスの利用が多い傾向**がある。
- その他、市全体と比べると自家用車 (家族等の送迎) が多く、**交通弱者が比較的多い地区**であると考えられる。

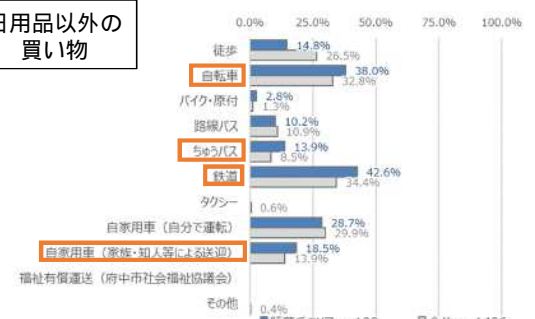
日用品の買い物



通院



日用品以外の買い物



地区別カルテ (紅葉丘文化センター圏域)

【通勤状況】

- 約51%が「週に3回以上」、約56%が「週に1回以上」の通勤をしており、市全体と同程度の割合となっている。
- 交通手段は、「自転車(46.0%)」「徒歩(30.0%)」「鉄道(23.0%)」となっている。また、13.0%が通勤に「ちゅうバス」を利用しており、市全体と比べて高い割合となっている。
- 通勤先は「都内(武蔵野市、杉並区、港区)」が多く、市内に勤務している割合は28.2%であった。



図 通勤の頻度

図 通勤時の移動手段

市町村	人数
港区	4
武蔵野市	4
杉並区	4
新宿区	3
三鷹市	3
調布市	3
千代田区	3
小金井市	3
渋谷区	2
中央区	2
その他	5

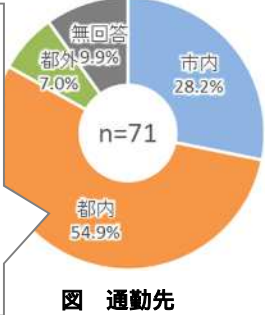


図 通勤先

【日常的に利用する鉄道駅】

- 「多磨駅」の利用が多く、紅葉丘1丁目からは「多磨霊園駅」の利用も見られる。
- 鉄道駅までの交通手段は、徒歩・自転車が主。雨天時は、路線バス・ちゅうバスを利用する割合が高まる。



図 日常的に利用する駅

地区の現状・問題点と課題

【現状・問題点】

- 鉄道やちゅうバスによって府中駅や東府中駅、武蔵境駅等へのアクセスが確保されている。
- 日常的な買い物はエリア内で済ませ、通院やそれ以外の買い物時に「府中駅周辺」「武蔵野市」まで移動する傾向があるが、日常的に府中駅まで移動する機会は比較的小さい可能性がある。
- ちゅうバスの利用が比較的多い一方で、「バスの本数が少ない」ことが不満点として挙げられている。
- 自転車の利用率が高い一方で、駐輪場不足や自転車走行環境に関する不満点も挙げられている。

【課題】

- 若松町(東府中駅方面)へのアクセス性の維持、需要に応じた運行サービス拡充の検討が必要である。
- 紅葉丘エリア~府中駅間の移動ニーズを踏まえた、ちゅうバス運行ルートの見直し検討が必要である。
- 快適な自転車利用環境の実現に向けた検討が必要である。

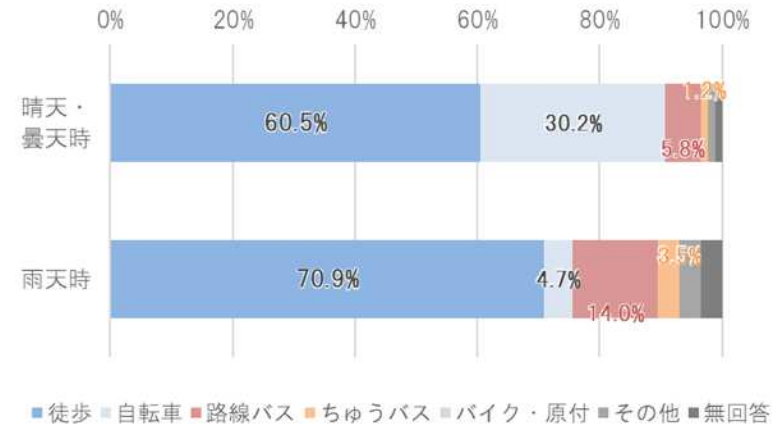


図 駅までの交通手段